

NADESICO

vol.
06
| 2022 |
spring

Kyushu Women's University



Kyushu Women's Junior College

SCHEDULE ▶ 2022.4-9

4 April

- 1 (金) 学年始め
- 5 (火) 入学式
- 8 (金)・9 (土) 新入生研修
- 12 (火) 前期授業開始

5 May

- 7 (土) 学生総会(予定)

6 June

- 4 (土) 後援会総会(予定)

9 September

- 3 (土)・4 (日)、10 (土)・11 (日) 保護者懇談会(地方会場)
- 15 (木) 後期授業開始
- 17 (土) 保護者懇談会(本学会場)

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて内容を一部変更する場合がございます。何卒ご了承ください。

CASTING

カメラマンさんたちが盛りあげてくれて楽しい撮影でした



Left

相川 奈澄 さん

家政学部人間生活学科 3年生
福岡県:東筑紫学園高等学校出身

Right

馬氷 侑奈 さん

家政学部栄養学科 3年生
福岡県:福岡大学附属若葉高等学校出身

特集

安心・安全＋
楽しい・嬉しい

New- Normalで 行こう！

学校法人 福原学園



九州女子大学
九州女子短期大学

学校法人 福原学園
九州女子大学・九州女子短期大学
TEL 093-693-3087
URL www.kwuc.ac.jp

発行日 令和4年3月31日

※新型コロナウイルス感染症に対する十分な
予防対策を行った上で撮影を実施しました。



安心・安全+楽しい・嬉しい

New-Normal で行こう!

できる限りの新型コロナウイルス感染症への対策を施しながらも、
楽しいことや嬉しい体験を積極的にプラスする。
九女ならではのニューノーマルな学びスタイルが生まれています。
令和3年10月には、一日限定の大学祭が開催されました。

1日限定の大学祭「華秋祭」を開催！ テーマは「光～輝く未来を目指して～」

2021年10月31日（日）
会場：思静館裏特設ステージ（屋外）
参加者：福原学園の生徒・学生/オープンキャンパス事前予約参加者（生徒・保護者）

開催できれば
未来への希望に
つながるから

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止になった大学祭「華秋祭」。先行き不透明な時代ゆえに、他大学では中止やオンライン開催を余儀なくされているところもありましたが、何度か何度も感染防止対策の協議を重ね、例年3日間開催の場所を1日限定とし、来場者も福原学園の生徒・学生、およびオープンキャンパスに事前申し込みをした高校生と保護者の方に限るという三密回避の縮小開催となりました。

「光～輝く未来を目指して～」というテーマには、今の暗い世の中を、少しでも自分たちの力で光り輝くものになりたい、という意味が込められています。また、感染防止対策を徹底した上で開催することができれば、コロナとともに新しい一歩を踏み出せる可能性につながり、未来への希望が生まれる、との強い思いもありました。

来場者はず、本部受付で検温と手指消毒を徹底しました。学生の模擬店は物販のみとし、調理販売をする模擬店は休止。代わりにお昼休みに出張販売に来ているキッチンカーを招いて食事を提供することにしました。食事会場にはパーティションを置き、感染防

止対策を施しました。
ステージプログラムのトップバッターは、書道部による書道パフォーマンス。ステージの背面いっぱい書き上げられた力強い文字が、見る人の胸を熱くします。このほか、部活動・サークルによる展示会も行われました。これまでの2年間、感染拡大による制約や自粛も多く、なかなか思うように活動できなかった中で入学してきた1～2年生に、委員会やサークル活動の魅力をもっと知って欲しい、との思いから、運動系・文化系問わず、多くの部やサークルが工夫を凝らした。感染防止対策を呼びかけながらも、かけがえない大学生活を楽しむこと。だからこそ九女が目指す、ニューノーマルなキャンパスライフです。





令和3年度の後期は、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底しながらも、九女ならではの学びを止めないために、新しい取り組みなども行ってきました。マスクや消毒、体調管理などと並行して、今できることをがんばって来た学生たち。各学科の成果とトピックスをご紹介します。

九州女子大学 家政学部

人間生活学科

公開プレゼンテーションやデザインコンペに挑戦！

新型コロナウイルス感染症の流行は、世界中で人々の生き方や暮らし方、働き方など、これまでの「常識」を抜本的に見直す契機となりました。特にステイホームやリモートワークが増える中で求められているのが、新しい空間デザインのあり方。これまで以上にインテリアデザインの重要性について活発な議論が行われ、世界中で関心が高まっています。

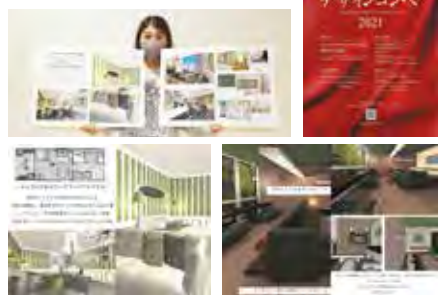
また、Society5.0社会の到来に伴い、技術革新や価値創造の源となる「飛躍知」を発見する力や、解答が一つではない課題に対して自分なりの答えを見つけ出すことのできる能力が、これまで以上に必要であると言われています。

人間生活学科のインテリア系では、こうした時代の流れに対応するために、新しい価値を生み出す創造力やデザイン力が身につく実践的な取り組みとして、著名な公開プレゼンテーションやデザインコンペに積極的に参加。さまざまな発表の場を体験したり、受賞という形で高く評

価されることを通して、学生たちのスピーディな実行力や臨機応変な対応力、社会で即戦力となる基盤が確実に育ってきています。今回は、2021年4月から

の取り組みの一部をご紹介します。

デザインコンペ



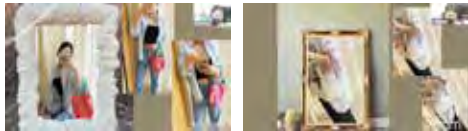
日本のインテリア系の学校が応募する有名な「JAPANTEXインテリアデザインコンペ」に2・3年生が応募し、3年生の1作品が入選。テーマは「エレガントなエクレクティクスタイル」。

有名な「主張する『みせ』学生デザインコンペ」に、ゼミナール1・2年生が参加。「これからの道の駅」の提案で、1作品が奨励賞を受賞。



KIPA(関西インテリアプランナー協会)第4回デザインコンペ「WATING(待つ)を豊かにする空間」に3年生有志3名が応募。冊子に掲載されました。

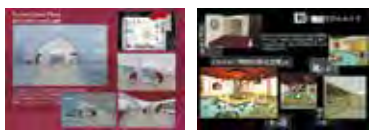
公開プレゼンテーション



World Interior Design Week「もの・空間デザイン学生フォーラム KANSAI」で、酒井ゼミ4年生2名が卒論のテーマでもある衣服ロスを題材に、端切れを使った「エコバッグ」や「ペットの衣服」の試作品を発表。



USD-O+KIPA7団体主催「オンライン・関西デザイン学生シンポジウム2021」にプロジェクトチーム(ゼミナール1・2年生)を編成し参加。「クールで、かわいい、これからの道の駅」を提案し、優秀賞を受賞。



九州女子大学 家政学部

栄養学科

ジビエカレーとホットドックをホームゲームで販売して好評

昨年6月、北九州市を拠点に活動するJ2リーグのプロサッカーチーム『ギラヴァンツ北九州』とプレミアムパートナー契約を締結した九州女子大学。事業の一つとして取り組んできた「ジビエ料理プロジェクト」のお披露目が、昨年10月に実現しました。

これは、ギラヴァンツ北九州と、そのフレンドリータウン協定先であるみやこ町、九州共立大学・九州女子大学がタッグを組んだ共同プロジェクト。みやこ町が抱える「有害鳥獣であるイノシシやシカによる農作物の被害」という課題を解決するため、駆除されたイノシシやシカを有効活用した新名物を作り、地域活性化にも役立てようとするものです。商品開発の依頼を受けた栄養学科の学生と教員が一丸となって、ジビエ料理のレシピを考案しました。完成したのは、猪肉のジビエカレーと、鹿肉を使ったジビエウインナーのホットドック。ギラヴァンツ北九州の試合日に、ホームであるミクニワールドスタジアム北九州で販売しました。いずれもあっという間に完売するという盛況ぶり。販売に携わった4年生は、試行錯誤して生み出した商品の確かな手応えを感じることができました。



ジビエカレーは、15種類のスパイスを駆使して、肉の旨味をしっかりと味わえるスパイシーなカレーを実現。鹿肉のソーセージはジューシーで食べ応えがあり、鉄分も豊富。事前に関係者を招いての試食会も行いました。



10月16日にはジビエカレー100食。10月30日にはジビエカレー100食、ジビエホットドック120食を販売。いずれもあっという間に完売しました。



10月30日には栄養学科の4年生が販売とPRを行いました。



試行錯誤したメニュー開発。ジビエ肉特有の臭みなど向き合い、おいしさを追求する姿勢は真剣そのものです。



read more



read more



九州女子大学 人間科学部
人間発達学科・人間基礎学専攻

Zoomを使った特別授業で
プレイフルマインドを体感

人間発達学科・人間基礎学専攻では、1年次後期に「スキルアップ講座」という授業を展開しています。この授業は、オンライン・オンデマンド授業と対面授業、グループワークを交錯しながら、学生自らが能動的に学びに向かうアクティブラーニング型で行われます。その中から今回は、昨年9月10日に行われた特別授業についてご紹介します。

講師にお迎えしたのは、日本のプレイフルラーニングの第一人者である上田信行先生。ワークショップ型の授業をZoomを使ったオンライン形式で行うという新しいスタイルで行われました。今回の授業の鍵となったのは、「プレイフルマインド」。どんな状況であっても、自分とその場にいる人やモノ、コトを最大限に活かして、ワクワク、ドキドキするような新しい価値を作り出そうとする姿勢です。学生たちは、画面上にランダムに出される画像と「自分を結びつけ、グループのメンバーに即興で話をする」というプログラムにチャレンジし、プレイフルマインドを体感。オンラインでも受け身ではなく能動的に学べる可能性と、画面の向こう側にいる相手と積極的に関わり交流する体験ができました。



特別授業の講師にお迎えした上田信行先生(写真上)と人間発達学専攻の谷口幹也教授。



当日は、2年生が情報端末室からサポート。このほか、上田先生に学ぶ梅光学院大学(山口県)の学生さんやマネジメントスタッフの皆さん、鳴門教育大学(徳島県)の先生、ワークショップデザイナーユニット劇団パンビ(京都)がオンラインでつながり、地域や大学の垣根を越えたZoomならではの授業となりました。



サポート役として授業をアシストした2年生と上田先生。

九州女子大学 人間科学部

人間発達学科・人間基礎学専攻

学外での活動や学びを通して
未来のスペシャリストを育成

人間発達学科・人間基礎学専攻では、より実践的な知識とスキルを習得するために、学内だけでなくとまらず、学外にも活動や学びの場を広げています。

たとえば、心理学コースでは、2年次から学ぶ公認心理師のためのカリキュラム科目「心理実習」を学外の諸施設で行います。実習先は、精神科病院や精神保健福祉センター、児童養護施設、少年院、外部EAP(従業員支援プログラム)専門機関など多岐にわたります。初めて臨床の現場に足を踏み入れた学生たちは、働く公認心理師や施設を利用する人々と触れ合う中で、さまざまな成長します。

図書館・情報コースでは、学生個人の能力を向上させる取り組みとして、学んだネットワーク技術をイベント等で実践したり、情報の知識(アルゴリズム)をゲーム感覚で学ぶなど、授業外でも活動しています。今年度は図書館関連のイベントでその活動が評価されるなど、情報発信も積極的にを行いました。

国語・書道コースの書道では、毎年、高等学校揮毫大会を企画・運営しています。書道の実技や理論、教育を学ぶだけでなく、大会の準備を通して幅広いことに対応できる学生を育成しています。



心理実習に向かう学生たち。「明るい雰囲気、施設へのイメージが変わった」「自分の課題に気づくことができた」など、驚きと発見に満ちた声が聞かれました。



図書館司書になるために学んだ知識とスキルを活かし、学外の図書館や書店においてPOPづくりなどに取り組みました。

高等学校揮毫大会では、学生たちがボランティアスタッフとして参加。準備段階から関わり、企画、運営、公的なマナーに至るまで幅広く学ぶ、有意義な研修の場でもあります。

read more



read more



#01

がんばる学生たちに届いた 2つのあたたかみプレゼント

昨年12月、コロナ禍でもがんばる学生たちに、嬉しいクリスマスプレゼントが届きました。

一つは、人気の豚骨ラーメン店「一蘭」から届いたカップ麺「一蘭 とんこつ」。コロナ禍で苦勞する学生たちの勉強や部活に取り組み活力源になれば、とのこと寄贈いただきました。配布会場で1人2個ずつのカップ麺を受け取った学生たちは、「ありがとうございます！」と満面の笑顔でした。

もう一つのプレゼントは、本学後援会から配布された「QUOカード」。コロナによる緊急事態宣言等で、後援会が主催する保護者懇談会や総会などが、やむを得ず中止や延期になることが多かったため、「後援会費を学生たちに還元しては？」との声がありました。

誰かが自分のことを見てくれている。誰かが応援してくれている。そう思うと明日をがんばる力も生まれます。思いがけないあたたかいプレゼントを受け取った学生たちの明るい笑顔は、明るい未来を予感させてくれました。



#02

ハートマークで話題沸騰！ アイドル猫のココロちゃん

本学には、背中に大小2つのハートマークがあるアイドル猫「ココロちゃん」がいます。推定18歳、人間でいえば88歳ほどのおばあちゃん猫です。以前はキャンパス内を自由に歩き回っていましたが、現在は正門の守衛室で警備員さんたちに食事の世話などをしてもらいながら、のんびり暮らしています。

そんなココロちゃんが、令和3年度は話題沸騰。TVやネットニュースなどで紹介されました。取材では、以前は学内に20匹ほどいた猫たちのことや、学生有志のサークル「ふくねの会」が結成されて餌やりや糞の始末、健康管理などを行う地域猫ならぬ「大学猫」活動をしたことなども紹介されました。大学猫たちは次第に減り、今では「ココロちゃん一匹に。それでも「ココロちゃん」と会うのが楽しみです」という学生もいるほど。小さな命へのいたわりや思いやりの気持ちなど、大切なことをココロちゃんは学生たちに教えてくれています。



- 【ココロちゃんが取材を受けた番組等】
- ◎神戸新聞「まいどなニュース」(2021.8.9)
- 右記QRよりご覧いただけます。
- ◎TNC「もち浜S特報ライブ」(2021.9.10)
- ◎NHK「あさイチ」(2022.2.3初回放送)



「歯磨き戦隊ミガクンジャー」 自由ヶ丘幼稚園プロジェクト

子ども健康学科・専攻科では、地域やさまざまな施設と連携し、授業で修得した専門知識や技能を活かした課題解決型の学習を展開しています。その中から今回は、本学附属の自由ヶ丘幼稚園とのコラボプロジェクトをご紹介します。

今回の課題は、幼稚園児への歯科指導。さらに園側から「感染症対策も踏まえた指導を」とのリクエストをいただきました。そこで、専攻科の学生たちが「歯磨き戦隊ミガクンジャー」を結成。12月9日、12月16日の2回にわたり自由ヶ丘幼稚園を訪問し、歯磨きの大切さを伝え、感染症対策として「うがい」も含めた歯磨き指導を行いました。

プロジェクトは、将来、教員や保育士を目指す学生たちが、幼児や児童生徒への理解を深めることが目的の一つでもあります。こうした実践を行うことで、幼児の発達段階における心身の特徴や生活実態についての理解が深まります。同時に、計画から実施、終了後の振り返りまで学生が主体となって行うPDCAサイクルに基づいた組織運営についても学びます。これからも地域と連携した課題解決型学習を通じて、保育・教育者としての実践力を育成していきます。



まずは現地でのリハーサルから。機材のセッティングも自分たちで行います。



最初に仕掛け絵本を使って、歯磨きに興味を持ってもらいます。



そこへ「歯磨き戦隊ミガクンジャー」が登場！



手作りの歯の模型を使って、園児に虫歯菌を退治してもらいます。



最後に残ったつこい虫歯菌は、サンタさんが登場して退治。普段の歯磨きでも、最後は大人に仕上げ磨きしてもらおう大切さも伝えます。



みんなでジングルベルの歌に合わせてダンスを踊ったり、手作りのクリスマスプレゼントを配ったり。子どもたちが笑顔になる工夫も忘れません。

read more

子ども健康学科



子ども健康学専攻



One year period
Autumn



Spring



Winter



Graduation ceremony



Summer

夏には、管理栄養士の国家試験対策や、教員採用試験対策などにも懸命に取り組まれました。ハワイボードに書かれた「今日が『国家試験当日』という気持ちで受けろ」という言葉に身が引き締まります。新型コロナウイルスの感染予防対策を施しながら、オープンキャンパスや地域社会と連携したプロジェクトにも取り組みました。

秋には、楽しみにしていた大学祭「華秋祭」や、課題解決型学習におけるイベント「第2回九女わくわくパーク」などを開催。こうしたさまざまな取り組みを通して、新しい生活様式が求められる時代にも通用する「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を養成しています。

冬には、「消費者フェスティバル2021×SDGs」や「北九州ゆめみらいワーク2021」など、学外のイベントにも積極的に参加。大学の魅力を最大限に伝える活動を行ってきました。中でも12月2日・3日に行われた「北九州ゆめみらいワーク2021」では、本学のブースが「ベストブース賞」「デザイン部門」において3位に選ばれるという朗報もありました。

そうして迎えた3月の卒業式。感染予防対策を万全に施し、規模を縮小して行われました。参列者も制限したことから、保護者の方に向け学位授与式をYouTubeでライブ配信。ここから巣立つ卒業生の活躍が楽しみになりました。

真摯な活動や元気な笑顔に励まされた1年間

九州女子大学・九州女子短期大学では、昨年度はコロナ禍で中止せざるを得なかった入学式も今年は無事に開催され、新しい一年をスタートすることができました。

春には、2日間にわたる新入生研修も開催。研修1日目には、大学生生活の第一歩として、受講する授業を選び、時間割を自分で決めていきます。2日目にはこれから一緒に学ぶ仲間たちとの交流レクリエーションも楽しみました。

NADESICO
Watch

